

<p>データサイエンス</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ 統計学</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<p>■ 統計学 ■ 生物統計学 ■ 医療統計学</p>	<p>20年ほど医学研究所で統計解析を担当した経験があります。扱ったデータとしては、大きさを言うと、ゲノム、染色体、細胞、マウス、ヒト臨床データ、また、分野で言えば、医学、看護、栄養、社会学、文学、などになります。より具体的な解析事例としては以下の通りです。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● がん患者の2万個の遺伝子の発現情報を調べ、抗がん剤の効き目(術後の生存率)に重要な遺伝子を特定。[T. Tanaka, K. Tanimoto, K. Otani, K. Satoh 他, 2004]</li> <li>● 放射線治療による食欲低下を抑制するために漢方薬が標準薬と比較して食事を有意に増加させるか評価。[T. Yoshiya, T. Mimae, M. Ito, S. Sasada, Y. Tsutani, K. Satoh 他, 2020]</li> <li>● CT検査による低線量被曝の生物学的影響を調べるために、被曝線量と検査前後の染色体異常率の変化を定量化。[L. Shi, K. Fujioka, N. Sakurai-Ozato, W. Fukumoto, K. Satoh 他, 2018]</li> <li>● 病気の原因となる変異を培養細胞に遺伝子導入し、薬剤濃度を変化させた場合の電気生理学的影響を野生型を対照群として評価。[N. Hara, H. Morino, Y. Matsuda, K. Satoh 他, 2020]</li> <li>● 要生活習慣病予備軍を把握するために、小学校で生活習慣に関するアンケートと血液検査および医師の診断を行い、これらを紐づけて、他の学校ではアンケートのみで生徒の生活習慣病のリスクを予測。[小田光子, 佐藤健一, 岸田典子, 2007]</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症患者のホテル療養中における重症化のリスク要因を特定。[Y. Sakamoto, K. Satoh 他, 2022]</li> <li>● 東日本大震災における被災者によるグループインタビューにおいて当時の体験が職業ごとに類似することをテキスト解析により視覚化。[A. Hasegawa, M. Koike, M. Nemoto, T. Ohba, C. Yamada, S. Matsui, M. Fujino and K. Satoh, 2018]</li> </ul>
<p>佐藤 健一 Kenichi Satoh</p>	<p>また、フリーの統計解析ソフト「R」を用いたセミナー「医薬品・医療機器メーカー様向け 滋賀大学データサイエンス人材育成プログラム」の講師をしています。受講して頂いた企業としては、エーザイ株式会社、株式会社カン研究所、大正製薬株式会社、大日本住友製薬株式会社、田辺三菱製薬株式会社、日本新薬株式会社、富士通株式会社、EAファーマ株式会社、小野薬品工業株式会社、ロート製薬株式会社、があります。</p>
<p>データサイエンス学部 教授</p>	<p>最後に、統計学の理論的な研究ですが、回帰分析の回帰係数が時間や空間上で変化する変化係数に興味を持っています。最近では、次元縮約で注目される非負値行列因子分解、あるいは、カーネルリッジ回帰にも興味があります。最新の研究活動・企業連携の情報はホームページにて公開しています。</p>
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島大学大学院理学研究科(博士課程前期)数学専攻修了</li> <li>・広島大学より博士(理学)取得</li> <li>・広島大学原爆放射線医科学研究所 計量生物研究分野 准教授</li> <li>・滋賀大学データサイエンス学部 教授 2021年4月～継続中</li> </ul>	<p><a href="https://sites.google.com/view/ksatoh/">https://sites.google.com/view/ksatoh/</a></p>
<p>【主な社会的活動】</p> <p>日本統計学会、応用統計学会、日本計量生物学会、日本疫学会</p>	<p>【主な受賞歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2010年度・2015年度応用統計学会学会賞(優秀論文賞)受賞</li> </ul>
<p>【連絡先】</p> <p>kenichi-satoh@biwako.shiga-u.ac.jp</p>	<p>【連絡先】</p> <p>kenichi-satoh@biwako.shiga-u.ac.jp</p>
	<p>企業・自治体へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学、生物、保健、栄養分野などにおいて共同研究の実績があります。</li> <li>・アンケートの自由記載、インタビューなどを題材とした統計的テキスト解析の経験があります。</li> <li>・統計ソフト「R」を使いながらプログラミングおよび統計解析手法をセミナー形式で行うことができます。</li> </ul>